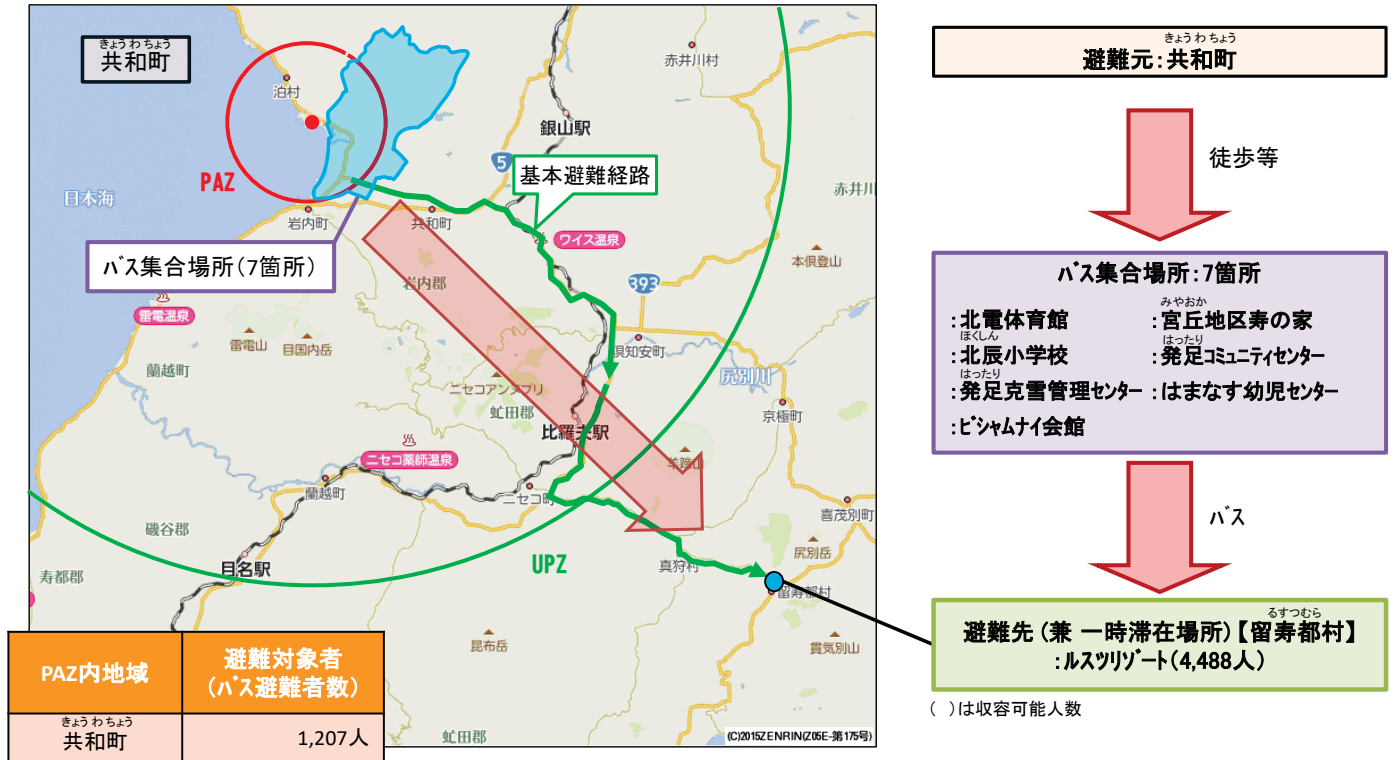


- 共和町におけるPAZ内の住民については、徒歩等で各バス集合場所に集合し、バスにより留寿都村の避難先(ルスツリゾート)に避難。



※1 避難先については、啓発資料を全戸配布するとともに、訓練を通じて住民に周知
 ※2 避難対象者数は、PAZ内住民の合計数から施設敷地緊急事態で避難する住民を引いた数字である

- 泊村において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、約450人分:バス16台であり、北海道は「原子力災害時における住民避難用バス要請・運行要領」に基づき、北海道バス協会に住民避難用バスを要請。
- 北海道バス協会は、同要領に基づく北海道からの要請を踏まえ、住民避難用バスを調整・確保するとともに、更に余裕を持った台数を確保。

泊村において全面緊急事態で必要となる輸送能力>

	想定対象人数※	必要車両台数	備考
バスにより避難する住民	449人	16台	バス集合場所にて乗車 1台あたり40人の乗車を想定 【資料P50】

※ 数字は現段階で泊村が把握している暫定値

泊村における全面緊急事態での輸送能力の確保>

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		16台	
(B) 確保車両台数		計16台以上	
確保先	北海道バス協会	16台以上	PAZ・UPZ町村が所在する後志地域のバス会社が保有する車両総数1,238台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合など、関係自治体の要請により実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)が必要に応じ支援を実施

- 共和町において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、約1,210人分:バス35台であり、北海道は「原子力災害時における住民避難用バス要請・運行要領」に基づき、北海道バス協会に住民避難用バスを要請。
- 北海道バス協会は、同要領に基づく北海道からの要請を踏まえ、住民避難用バスを調整・確保するとともに、更に余裕を持った台数を確保。

きょうわちょう
＜共和町において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数※	必要車両台数	備考
バスにより避難する住民	1,207人	35台	バス集合場所にて乗車 1台あたり40人の乗車を想定 【資料P51】

※ 数字は現段階で共和町が把握している暫定値

きょうわちょう
＜共和町における全面緊急事態での輸送能力の確保＞

		確保車両台数	備考
		バス	
(A)必要車両台数		35台	
(B)確保車両台数		計35台以上	
確保先	北海道バス協会	35台以上	PAZ・UPZ町村が所在する後志地域のバス会社が保有する車両総数1,238台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合など、関係自治体の要請により実動組織（警察、消防、海保庁、自衛隊）が必要に応じ支援を実施

泊村におけるバス避難の住民の数

- 泊村による全戸訪問調査の結果、PAZ内のバスにより避難する住民は合計約450人。
- 泊村では、10箇所所のバス集合場所を設置し、バスにより避難する住民は、あらかじめ指定されたバス集合場所に集合。



バス集合場所		バス必要台数
① 照岸・糸泊地区集会所	106人	3台
② 泊地区集会所	36人	1台
③ 泊村アイスセンター	15人	1台
④ 臼別地区集会所	31人	1台
⑤ 泊村公民館	47人	2台
⑥ 茅沼地区集会所	55人	2台
⑦ 泊村総合福祉センター	55人	2台
⑧ 泊中学校	39人	1台
⑨ 渋井地区集会所	7人	1台
⑩ 堀株地区集会所	58人	2台
合計:10箇所	449人	16台

※ 数字は現段階で泊村が把握している暫定値

- 共和町におけるPAZ内のバス避難の住民数は合計約1,210人。
- 共和町では、7箇所のバス集合場所を設置し、住民は、あらかじめ指定されたバス集合場所に集合。



バス集合場所	住民数	バス必要台数
① 北電体育館	523人	14台
② 北辰小学校	15人	1台
③ 発足克雪管理センター	132人	4台
④ ビンヤムナイ会館	53人	2台
⑤ 宮丘地区寿の家	67人	2台
⑥ 発足コミュニティセンター	135人	4台
⑦ はまなす幼児センター	282人	8台
合計:7箇所	1,207人	35台

※ 数字は现阶段で共和町が把握している暫定値

- 自然災害等により避難経路が使用できない場合を想定して、基本避難経路及びその他避難経路を設定。

